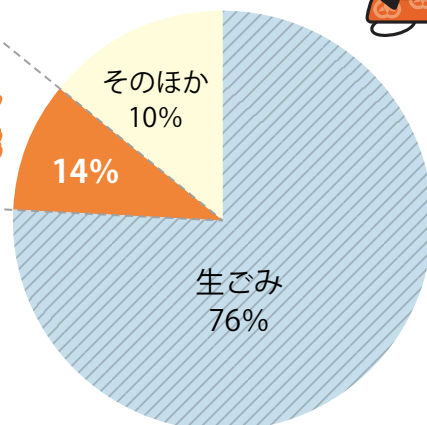


実際に出されたごみダイエット袋 (可燃ごみ)の中身を見てみよう

可燃ごみとして出されているごみのうち、約14%がリサイクルまたは削減できる可能性があります。



リサイクル
などが可能



このマークは「プラスチック製 容器包装」の目印です。

汚れがあればひと洗いし、しっかりと水を切ってから出しましょう。二重袋はやめましょう。

古着はリサイクルステーションへ

市内4カ所でご着のほか、古紙なども回収しています。

- ①1号店 サービスセンターあしだ(芦田町2-7-1)
- ②2号店 小松サン・アビリティーズ(符津町念仏ヶ2-7)
- ③3号店 松陽地区体育館(大領町な66)
- ④4号店 国府地区体育館駐車場(河田町ヌ18)



紙ごみのうち、名刺サイズ以上の紙は古紙としてリサイクルできます。

- ①新聞紙(チラシなどは取り除きましょう)
- ②ダンボール
- ③紙パック(ひと洗いし、乾燥させましょう)
- ④雑がみ(大きさの違う紙は、紙袋に入れてひとまとめに)

食品ロスをなくそう

市民団体の皆さんが、賞味期限が1カ月以上ある常温保存食品(未開封)の回収をしています。

- ①第一地区コミュニティセンター
回収日時：第1土曜日10時～12時
- ②小松サン・アビリティーズ
回収日時：第3土曜日10時～12時

③ごみ分別動画

「プラスチック製容器包装編」、「総集編」

ごみの分別について、分かりやすく動画で説明しています。日本語のほか、英語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語があり、いずれもYouTubeで配信しています。また、DVDの配布も行っています。



④ごみ検索サイト「ごみサク、ごみ分別アプリ」ごみスケ

ごみの分別に迷ったときは、携帯電話やスマートフォンで気軽に検索できる「ごみサク」をご利用ください。

3月からは、ごみの収集日などをお知らせするアプリ「ごみスケ」の運用がスタートします。とても便利な機能です。ぜひお試しください。

なお、4月以降は外国語版も運用開始予定です。



※画像はイメージです



めざせ!ごみダイエット50%OFF、リサイクル33%

私たちの生活にとって、切り離せない「ごみ」の問題。

子供たちの世代、その次へと続く未来のために、今私たちがすべきことを一緒に取り組んでいきましょう。

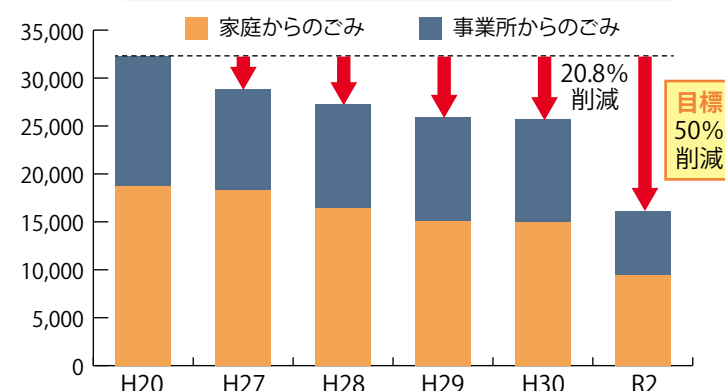
問い合わせ エコロジー推進課 ☎24・8069



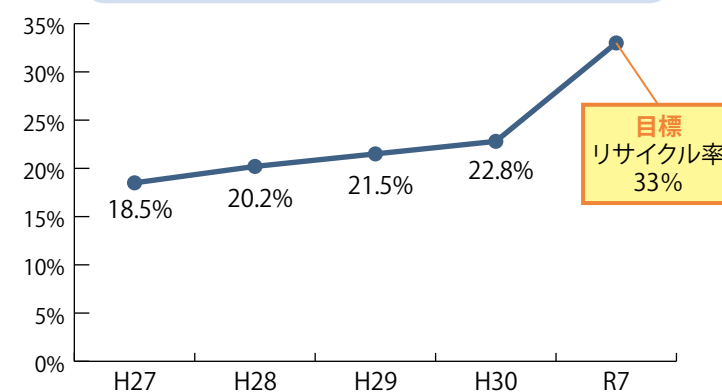
可燃ごみの調査結果

可燃ごみの排出量は、平成20年と比較して、令和2年度までに50%削減することを目標としています。現在までに約20%減少していますが、家庭からのごみの量はあまり減っていないのが現状です。家庭ごみの大半は「生ごみ」や「紙ごみ」です。生ごみは水切りや堆肥化する、紙ごみは古紙としてリサイクルすることで、可燃ごみを大幅に削減できる可能性があります。

小松市の可燃ごみ排出量の推移(H31.3現在)



リサイクル率(家庭からのごみ)



リサイクル率の調査結果

令和7年度までにリサイクル率33%達成を目標に掲げ、その推移は増加傾向にあります。しかし現状としては、まだまだリサイクルできる古紙・プラスチック製容器包装・古着などが可燃ごみに含まれています。いま一度、家庭での分別方法を確認し、ごみ減量に向けた取り組みをみんなで進めていきましょう。

みんなで守ろう

ごみ分別

分別方法やルールなどが分からないときに役に立つツールなどを紹介します。

①ごみ出しカレンダー、家庭ごみ分け方、出し方手引き

ごみ出しカレンダーや手引きには、小松市のごみの現状や分別の基本ルールなどが記載されています。広報こまつ3月号配布時に、2020年度版ごみ出しカレンダーと手引きを配布します。



②ごみの分別マナー講習会

町内会・老人会・企業向けに職員によるごみ分別出前講座を行っています。イベントや外国人向け実習など、様々なシーンに合わせて行います。



東南アジアから世界を見る

20代の多くをフィリピンで過ごしました。政府やNGO(非政府組織)などを行き来する政治学者に囲まれ、私自身も、日本の外務省や国会議員事務所、国際NGOなどに勤務しながら研究活動を行っていました。5年前、在タイ日本大使館勤務時に発生したクーデターを契機に、現地の大学から依頼を受けて日本の政治制度や政軍関係について出張講義をすることが増え、大学で教えることに意義を感じて、教員の道に転職しました。

現在は、東南アジアの政軍関係や、自衛隊と日本社会に関する研究に取り組んでいます。昨年、ポツダムにあるドイツ連邦軍の軍事史・社会科学研究所に5カ月間滞在し、現地の政治学者らと共同研究を行いました。日本では、自衛隊や防衛問題はデリケートな話題と捉えられがちですが、自衛隊をめぐる日本の世論に特有だと考えられていた課題は、実は西欧社会にも共通してみられます。様々な理論や事例を踏まえて世の中の事象を客観的に解明するプロセスに、社会科学の魅力を感じます。小松には航空自衛隊の基地もあるので、ぜひ小松でしかできない研究テーマも見つけ、政策提言につなげていきたいです。

自転車が好きで、市内の平地エリアはほぼ制覇しました。金沢や福井まで行くこともあります。日英通訳を担当する「予備自衛官」に任用されているので、大規模災害など万一の際の招集に応じられるよう、日々楽しみながら体力維持に努めています。



国際文化交流学科
木場 紗綾 准教授
研究分野／国際政治論、
地域研究(東南アジア)

公立小松大学には、様々な専門分野の教員が在籍しています。どのような研究をしているのか紹介します。
問い合わせ 公立小松大学 ☎23・6600



国際文化交流学科
小原 文衛 准教授
研究分野／映画研究

映画は重要な歴史的資料
ステイブン・スピルバーグ監督の『ジョーズ』(1975年)は、巨大サメに立ち向かう人々を描いた娯楽作として知られていますが、ウォーターゲート事件からの政府への不信感といった政治的な意味や歴史的な情報を読み取ることができる作品です。映画は、時代や社会の問題性を反映しやすいメディアで、私は、主にアメリカ映画を対象に、その背後に潜む歴史や社会についての重要な意味を精神的分析方法で明らかにする研究に取り組んでいます。『ジョーズ』に限らず、娯楽作品と思われるホラー映画にも、アメリカ社会の問題や深層心理が内在しているのです。
子供の頃から、シャーロックホームズや精神科医のフロイトに憧れがありました。謎や怪奇を理性的・合理的に解釈、解決していく姿がとても格好良く映ったのです。さらに、『燃えよドラゴン』や『ジョーズ』から映画にのめり込み、当初アメリカ文学を専門としていましたが、映画好きが高じて、文学研究で学んだ手法を生かした映画研究に行き着きました。現在は、映画とロケ地の関係にも興味があります。小松は「勸進帳」という素晴らしい物語に恵まれたまちです。映画研究の視点で作品が与えた影響などを考察すると、小松のまちの違った一面が見えてくるのではないのでしょうか。
映画のほかに、英語や筋力トレーニングが趣味です。英語は授業も担当していますが、文法や用法などを勉強するのは今でも楽しく、コツコツやれば結果が出ることも魅力の一つです。

Reduce(リデュース)
ごみを減らそう。



Refuse(リフューズ)
不要なものは買わない・もらわない。



Recycle(リサイクル)
再び資源として利用しよう。



Repair(リペア)
修理して長く使い続けよう。

ごあーる
5R

Reuse(リユース)
繰り返し使おう。



未来のために私たちができること
きれいな地球のための
みんなの合言葉！

すりーぱっく
3バック

徹底して“紙にバック”
可燃ごみに入れず、リサイクルを。



買い物は“肩にバック”
必ずマイバックを持参しましょう。

生ごみは“土にバック”
土に返せば堆肥になります。



すっきり
3キリ

食材は“使いキリ”
適量を購入しましょう。



食事は“食べキリ”
適量を作りましょう。

生ごみは“水キリ”
捨てる前にしっかり水切りを。



近年、地球温暖化の影響による異常気象などの自然災害や、私たちの生活に密着している「プラスチック」を不法投棄することによる海洋汚染など、様々な問題が多発しています。

私たち一人ひとりが毎日の生活の中でできること、それは「できる限りごみを出さない工夫をすること」、そして「ごみは適正に処理すること」です。毎日のちょっとした心掛けが、やがて大きな成果につながります。住みよいこまつを次世代につないでいきましょう！